

日本共産党港区議会議員

熊田ちづ子



区政報告

2006年11月
No. 67

発行
日本共産党港区議員団
TEL 3578-2945
連絡先:東麻布2-3-7
TEL 3583-1402
Eメール kumada@jcp-
minatokugidan.gr.jp
HP http://www.jcp-
minatokugidan.gr.jp/

無料生活相談

毎月十二日 夜六時

飯倉福祉会館を予定しています

「ご連絡をお待ちします」

「中学校修学旅行費を補助する条例」を提出

「日本共産党港区議員団は十月五日、区立中学校の修学旅行に補助金として五万円を交付する条例を提出しました。東京都教育庁の調べでは、修学旅行不参加の生徒の二十パーセントが経済的理由を挙げています。

長引く構造的な不況と、リストラなど雇用不安などが増大する中で、高額な修学旅行の費用は、旅行先での交通費などを含め、区民生活に重い負担を与えています。

保護者の負担を軽減することと、全ての生徒が修学旅行



決算特別委員会で質問する、
熊田区議

いま、党区議団が
提出している条例

どの条例も、区民のくらし、福祉を応援するものです。力を合わせて実現させましょう。

要介護高齢者手当てに関する条例
要介護度4・5で在宅支援している世帯に、月1万を助成
保育の実施に関する条例の一部を改正する条例
二人目の保育料を無料にする

学校給食費助成条例
小中学校の給食費を無料に

フットサル場（芝公園多目的運動場・アクアフィールド）オープン記念大会

待望の施設が完成し、記念式典とオープン記念大会が十月十五日行われました。夏はプール、それ以外の時期は3面のフットサル場として利用できます。

利用するには、区内在住か在勤で、「スポーツネット利用者登録」が必要です。当面の利用は、空き情報で確認して申し込みます。詳細は港区スポーツセンター



(345214151)
までお問い合わせください。

巨大ビル建設の再開発に巨額の補助金 容積率は倍増、人口は激減…これが実態

森ビルなど大企業がすすめる市街地再開発事業に、二十年間で十地区に二百五億円もの補助金を投入し、超高層ビルの林立する港区にしてしま

いました。「もうこれ以上の開発はゴメン」、環境破壊はゆるせない」という多くの区民の声をよそに、国の都市再生路線を先取りするかのうちに、これから五年間だけでも百七十億円もの補助金支出を計画しています。

再開発は、補助金支出にとどまらず、容積率も大幅にアップして一〇〇mを超える超高層ビルの林立を推進しています。区長はさかんに「安全なまち、住宅もできる」からと言います。しかし、アー

< 主な市街地再開発事業の内容 >

地区名	補助金	容積率の変更	人口変動	変動率
赤坂・六本木地区 (アーケヒルズ) 森ビル	29億円	380%→740%	567人→252人	44%
六本木一丁目西地区 森ビル、住友不動産	33.5億円	375%→755%	489人→137人	28%
六本木六丁目(六本木ヒルズ) 森ビル、朝日放送	66億円	321%→719%	1154人→921人	79%
赤坂薬研坂北地区 積水ハウス	0円	363%→597%	50人→6人	12%

交差点の安全対策

保育園のお散歩の列に、車が飛び込み、保育園児が犠牲になるという痛ましい事故がありました。こうした事故を未然に防ぐために、危険箇所を見直すよう提案し、その一つとして、大きな交差点の信号機を歩車別信号機に変えるよう求めました。

とりわけ芝公園交差点は、近くに保育所、児童館・福祉会館があり、また芝公園や芝プールが改修され一年中使える施設になり、子ども達の通行も多くなる事が予想されます。早急に歩車別信号機の設置を関係機関に申し入れるよう求めました。区側は、改善要望については関係警察署と協議すると答弁しました。

医療制度の改悪…あまりにもひどい高齢者いじめ

四年連続国保料値上げにつづいて負担増 年二万円

医療制度改悪にともなつて国民健康保険条例の改訂案が提案されました。日本共産党区議団は反対。自民・公明・民主・区民・勇気の会・かがやき等多数で可決しました。条例案は、七十歳、七十四歳の人の患者負担を二割から二割に増やします。二〇〇八年四月実施。二割負担による負担増の総額は千二百億円。七十、七十四歳の人数六百万人で割ると、一人当たり年間二万円にもなります。さらに、七十歳以上で「現役並み」所得（現役「並み」の基準が引下げられ夫婦世帯で五百二十万円以上）の場合、患者負担を二割から三割に増やします。また、長期療養が必要で療養病床に入院する人の食費を値上げし、居住費を負担させます。（今年十月実施）

高齢者は、医療費負担の増加に、「死ねというのか」、これでは「うば捨山だ」、新聞には怒りの投書がたくさん寄せられています。具合が悪くなつても懐具合を心配しながら病院に行くことになり、重体になつてからはかえつて医療費がかかることになります。今回の医療制度改悪は、病気を悪化させない基本である早期発見、早期治療に逆行するものです。

ちいばすの運行路線の拡大

多くの区民の運動で昨年十月から二路線の「ちいばす」が運行され、沿線の住民から大歓迎されています。今定例会にも飯倉3・4丁目町会から、請願が提出され、全会一致で採択されました。ちいばす路線の拡大を求める請願は、区は「九月に地域交通のあ

り方検討会を設置し、行政が関わるサービスとして公平性、効率性、採算性等を考慮し、今後、地域交通サービスのあり方を検討していく」と答えました。党区議団は、交通不便地域を解消するため、みなさんと力を合わせてがんばります。



地域の要求実現します

熊田ちづ子 議会で取り上げ

区立芝公園の歩道が拡幅されます

日比谷通りの芝公園側の歩道は、東照宮のところから芝公園の地下鉄入り口のところが狭くなっており、自転車もすれ違えない、また変電盤も設置されており夜間は危ないという声が寄せられていました。これまでも改善のため、東京都の担当者と区の担当者と一緒に現地を視察し、区立芝公園の本格整備に併せて歩道の拡幅を検討する計画でした。拡幅する部分に区の保護樹木（桜）と江戸時代の石

橋の遺構があるため、区立芝公園から保護樹木の裏側の神社の参道を通る歩道が整備されることが明らかにされました。完成は来年三月予定です。



芝消防署三田出張所(三田2丁目)前歩道、拡幅

芝消防署三田出張所前～桜田通りまでの歩道は狭く、歩きづらい状況です。自転車では通れず、車道に出なければならない状況です。近隣の住民の方からも、拡幅できないかとの要望が寄せられていました。熊田ちづ子の質問に対し、歩道復員をどの程度広げられるかについて、三田警察署や国道工事

事務所と協議中であり、今年度中に歩行者が安心して通行できるよう歩道拡幅工事を行う事が明らかにされました。



雨水升の設置を要望

芝5丁目、港勤労福祉会館前の日比谷通り（都道）と第1京浜（国道）とが交差している横断歩道前が、雨の日は水たまりができ、歩行に支障があります。雨水升の設置など改善を求めました。区も現地を確認し東京都の第1建設事

務所に雨水排水の改善策をとるよう要望しました。

